

～新しくなる 肱川橋とともに 大洲の町を再発見～

発行元
肱川橋橋梁架替工事連絡協議会



城下町として栄えた 伊予の小京都・大洲 藩政時代の面影残す町並み散歩



町の雰囲気、風情が京都に似ていることから、「伊予の小京都」と呼ばれる大洲。木造復元された大洲城が建つ肱南地区には、城下町として栄えた藩政時代の面影を感じられる名所が数多く残されている。

秋深まり、臥龍山荘や如法寺の紅葉も色づき始めるこの時期は、気候的にも散策にぴったり。まずは観光拠点「大洲まちなか」あさもや」で観光マップを入手し、その奥にある「大洲歴史探訪館」へ。風光明媚な大洲の名所を収めた美しい写真が展示された館内では、見どころを紹介するビデオも上映している。



まち歩きスタートは、NHK連続テレビ小説「おはなはん」のロケ地として有名な「おはなはん通り」から。この通りには南側に武家屋敷、北側に商家が建ち並び、江戸時代の町割りと家並みが忠実に残されている。道幅はほかの通りよりも広い7.2mだが、これは城から臥龍の地にある藩主の別邸へのお成道として使用されていたからという理由に加え、商家の火事が武家屋敷に飛び火しないように配慮していたとも考えられているという。毎日12時になるとNHK連続テレビ小説「おはなはん」のテーマが流れるので、一度聴いてみたいものだ。



テレビドラマ「東京ラブストーリー」のロケ地としても知られるポストの前を通り、「明治の家並」へ差し掛かる。こちらは戦災にあわなかったことから、城下町特有のT字路やL字路、袋小路などの伝統的な町並みが見ごたえあり。地名も城下町の風情をしのばせるものが多く、商家と武家屋敷の境界の通りでは、両者の好対称を感じられる。
肱川の流れに沿って城壁のある歩道をゆったり歩いてみると、だんだんと大洲城が大きく見えてくる。少し足を伸ばして、天守を見学するのもいい。

イベント&トピックス

おおず 浪漫祭

静かな佇まいの大洲のまちなみには、明治の優美な意匠の名建築や、昭和30年代の空気漂う横丁など昔ながらの建物によるレトロな景観や歴史ある食文化が残っています。

そのようなまちなみを活かし、明治・大正・昭和の大洲の時代性を再現するお祭りが、「おおず浪漫祭」です。

当日は着物などの和装に身を包んだ「キャスト(=スタッフ)」が、人力車運行や懐かしい露店、レトロウェディングなどのイベントを行います。



【開催日時】
11月3日(土・祝) 10:00~15:30

【開催場所】
おはなはん通り/おおず赤煉瓦館
ポコベン横丁等を中心とする肱南地区

お問い合わせ
おおず浪漫祭実行委員会事務局
(大洲市役所観光まちづくり課)
TEL 0893-24-1717



一年を通して人気の「鴨せいろそば(1,200円)」



「とんくりまぶし(1,200円)」は照り焼きに仕上げた豚肉と栗の井をひつまぶしのように味わう技ありのひと品

住所/大洲市大洲649-1
大洲まちなか駅あさもや内
電話番号/0893-57-9300
営業時間/11:30~0:16:00
定休日/水曜(祝日の場合翌日)



本格的な蕎麦と地元の美味を味わう
まちなかの新たな憩いの場所

分油屋

大洲グルメをたぎねて

2017年5月、大洲の観光拠点「まちなか駅あさもや」にオープンした「分油屋」は、蕎麦と定食の店。店主こだわりの蕎麦は、昆布とカツオをベースに丁寧に仕上げた出汁が決め手だ。定番のかけそばやせいろそばをはじめ、具だくさんで食べごたえのある「海老天そば」や「辛肉そば」など、温かい蕎麦、冷たい蕎麦それぞれに充実しているのが嬉しい。

一方、定食は本店である「大洲炬燵油屋」でも人気のラインナップを用意。「南予の鯛飯定食」や「佐田岬の釜あげしらす丼定食」などの郷土の味が特に観光客に喜ばれている。木材や和紙の照明などを取り入れた店内はゆったりと落ち着いた印象。夕方まで通しの営業なので、遅めのランチや甘味を楽しみに訪れる地元の人々も、大洲の新たなオアシスとして、早くも人気を集めている。



肱川橋架替工事レポート



大洲市民の皆様を支えられ新しく生まれ変わる肱川橋です。

大正2年の初代完成から100年以上、大洲市民の生活を支えてきた肱川橋。現在行われている5代目への架替えに関しては、地震時の耐震性の強化や、橋脚を5本から3本に減らすことで川の流れをスムーズにするという治水上の問題の解消など、様々な課題解決を目的としています。さらに、歩道を広げることによって歩行者や自転車の方の通行もスムーズに。大洲市民のみなさんが安心して利用できる橋を目指して工事は進んでいます。

今回は、新肱川橋の橋脚工事を担当されている大旺新洋株式会社（大旺新洋）の監理技術者・加藤紀雄さんに、工事の進捗状況などお話を伺いました。

肱川橋情報館



肱川橋情報館では、肱川橋の資料展示や肱川橋架替工事のビデオ等を上映しておりますので、皆様お気軽にお入りください。

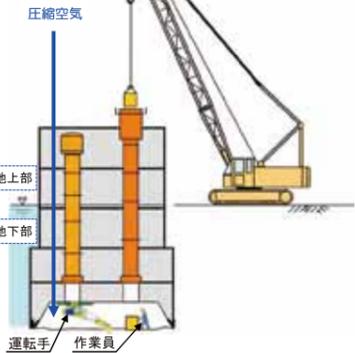
【開館時間】
平日9:00～17:00迄(土・日・祝日は休館)
※駐車場なし
【設置期間】
平成30年11月中旬～平成31年3月20日

大旺新洋株式会社は、高知県高知市に本社を置き、土木事業、建築事業、環境事業を展開しています。このたび、肱川橋の橋脚工事を担当させていただくこととなり、平成30年8月より工期に入りました。今回の工事では、新肱川橋に設置される3つの橋脚のうち、肱北側の橋脚1基を施工します。本工事での橋脚の施工においては、「ニューマチックケーソン工法」を採用。日中(8時～17時)は主に地上部で作業し、夜間(17時～翌8時)は主に地下にて掘削作業を行い、橋脚を下方へ沈設させていきます。

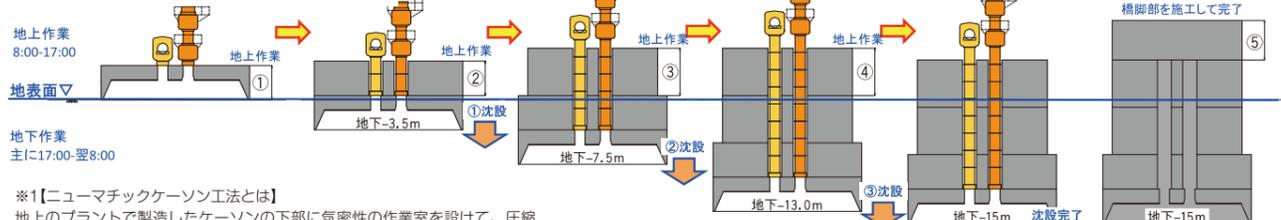
工事のスケジュールとしては、まず出水期である8月から9月にかけては現地測量や周辺環境を調査しました。そして10月中旬より現場の整地を行い、ニューマチックケーソンのプラントを設営し、12月頃から掘削開始。工期は平成31年3月下旬までを予定しています。また、工期の間は肱川緑地公園管理道路の一部が通行止めとなります。

ニューマチックケーソン施工時は24時間の作業となりますが、作業にともない発生する振動、騒音や粉じんの抑制、肱川の水质保全、また交通・第三者災害の防止には特に留意し、周辺地域の皆様にご迷惑をおかけしないよう努めてまいります。

そして、新・肱川橋の工事に携わらせていただけることに誇りを持ち、現場のメンバーが一丸となつていしものを作るため、邁進してまいります。今後とも、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



【ニューマチックケーソン 施工順序図】



※1【ニューマチックケーソン工法とは】
地上のプラントで製造したケーソンの下部に気密性の作業室を設けて、圧縮空気により湧水を防ぎながら掘削作業を行い、所定の深さまでケーソンを沈設する工法です。今回は地下約15mまで掘り進めます。

【完成予想図：肱川上流側より望む】



【肱川緑地公園管理道路 通行止 詳細図】



大洲、いいもの探訪

歴史の風薫る大洲市。その町には、代々受け継がれている、活気のあるお店がたくさんあります。今回は、山栄堂さんと前川時計店さんを訪ねました。

山栄堂

肱北地区で唯一、大洲の伝統菓子 志ぐれを守り伝える老舗



昭和45年に創業した「山栄堂」。大洲藩の御用菓子として江戸時代より伝わる「志ぐれ」の伝統は、明治以降も大洲市内にある数多くの和菓子店で守り継がれてきたが、現在、肱北地区で志ぐれを製造しているのはこちらが唯一だという。山栄堂ではバラエティ豊かな志ぐれを提案。厳選した北海道産小豆を使用し、もちもちとした食感とさっぱりとした甘さに仕上げた志ぐれに、手摘みしたよもぎを練り込んだ「よもぎ志ぐれ」や生柚子を使用した「柚子志ぐれ」、食物繊維豊富なもち麦の独特の食感も楽しい「もち麦志ぐれ」、秋の味覚の代表格「栗志ぐれ」などがあり、一つ一つ個包装なので日々のおやつによし、贈り物によし。また、山栄堂ならではの名物として、創業当初より製造している「鮎もなか」もおすすめだ。こちらは清流肱川を泳ぐ鮎をかたどった最後に、北海道産小豆のつぶあんがたっぷり。

現代表は、父である初代より店を受け継いだ二代目・中野達雄さん。関西での修業を経て、10年ほど前に帰郷。「親父がつくりあげた味を守り、地元の人々に親しんでもらえる和菓子屋としてやっていきたい」と抱負を語ってくれた。



住所／大洲市常磐町128-1
電話番号／0893-24-5322
営業時間／8:00～19:00
定休日／不定休

前川時計店

生活に寄り添ったサポーターで地域密着、地元の人に愛される店



八幡浜の時計店で修業を積んだ初代は、昭和32年に「前川時計店」を開業。当初より時計と眼鏡を扱っており、販売だけでなく修理やメンテナンスも請け負っている。二代目の靖さんは日本眼鏡技術専門学校で学び、昭和59年に帰郷した。今こそ眼鏡も機械による製造が主体ですが、父の時代はフレームはもちろん、レンズも視力に合わせて削るところから手づくりでしたと振り返る。時計、眼鏡ともに高い技術を持つ初代は88歳の今も現役で、年代物の時計の修理などにあたっている。前川時計店では30年、40年来の馴染みの客も多く、共に歳を重ねるなか、ニーズに応じて補聴器の取り扱いも開始。聴力検査室も備え、一人ひとりに対して丁寧なサービスを心がけている。「これからは眼鏡も補聴器も、ライフスタイルや使うシーンに合わせて選ぶ時代。お客様の要望をしっかり伺い、最適なものを提案できるように努めたい」と靖さん。話題の「Hazuki」や高品質のニコンの眼鏡なども揃え、認定眼鏡士としての高い技術と経験を活かし、地域の人の生活を支えている。



住所／大洲市大洲221-1
電話番号／0893-24-3312
営業時間／8:30～18:45
定休日／1/1～1/3